

元気いっぱいな国産天敵！

ミヤコスター☆



ミヤコカブリダニ剤

2000頭入



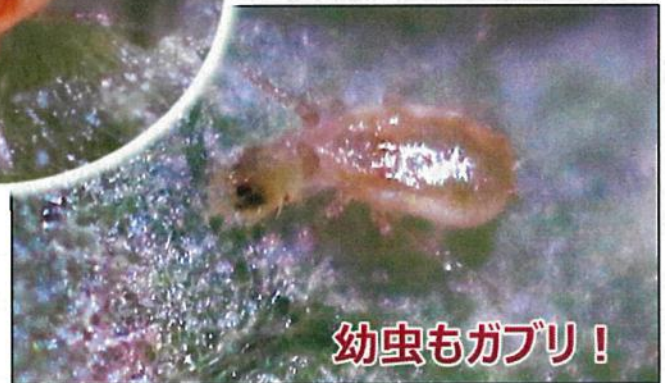
成虫もガブリ！



若虫もガブリ！



卵もガブリ！



幼虫もガブリ！

適用害虫と使用方法（一部抜粋）

2021年9月現在

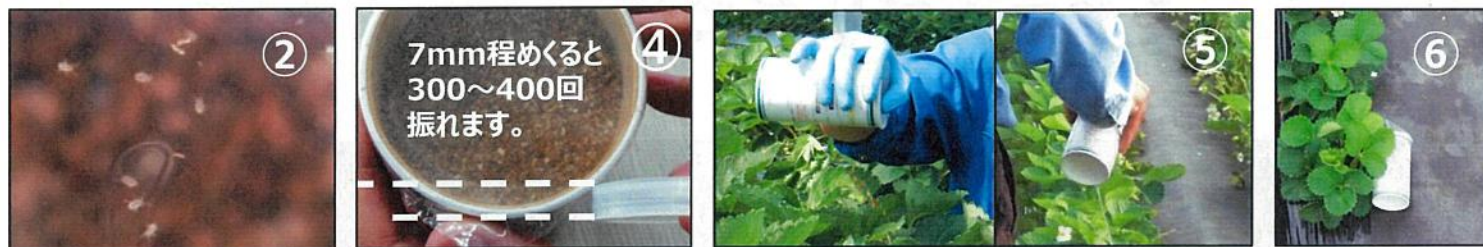
作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数
いちご (施設栽培)	ハダニ類	2000～ 6000頭 /10a	発生初期	—	放飼	—
いちご (露地栽培)		0.3～1頭 /株				

【ミヤコスターの特長】

- 薬剤抵抗性を発達させた、難防除ハダニ類も捕食します。
- 花粉を餌にできるため、ハダニ類の発生前から放飼できます。
- 専用注文書にて受注後、速やかに発送します*。そのため、放飼までのスケジュール調整に貢献します。

* 土日・祝祭日・年末年始・天候・地域により、納品日は異なる場合があります。

【放飼の仕方】



- ① ボトルを横向きにして5分程度置いてください。
- ② 上に登ってきたカブリダニを落とすため、外ぶたを取り、内ぶたを軽く叩いてください。
- ③ 中身が均一になるように、縦と横に10回程度やさしく回転させてください。

- ④ 外ぶたの厚みを目安に、内ぶたをめくり放飼してください。
- ⑤ 歩きながらふりかけ、畝全体に放飼してください。一畝終わったら③を繰り返してください（2～3本/10a）。
- ⑥ 中が空になったら、内ぶたを全てめくり、株元にボトルを数日置いてください（中のカブリダニが出てきます）。

【影響のある薬剤を避けること以外に、上手に使うポイント】



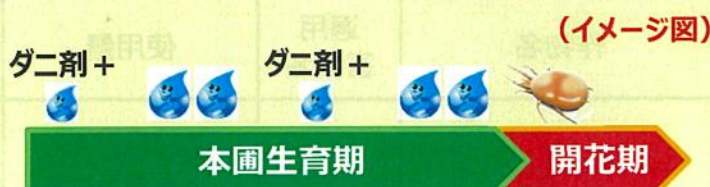
- ・ハダニによるクモの巣が見られる時に放飼した場合、捕食が追いつかない場合があります。
- ・放飼前はエコピタ液剤等、カブリダニ類に影響の少ない殺ダニ剤の散布を行い、極力密度を減らした後、すぐに放飼してください。
- ・発生初期では、チリカブリダニ剤も放飼してください（2000頭を2～3本、発生場所中心）。



- ・効果は子供、孫の代までカブリダニが増えてきた時発揮されます。
- ・温度が必要なため、最初は11月上旬までに放飼してください。



- ・還元水あめを有効成分とした気門封鎖剤です。
- ・薬剤抵抗性を発達させたハダニにも高い効果を示します。
- ・使用回数に制限がなく、薬害リスクの少ない製品です。
- ・育苗期から天敵放飼前にハダニの密度を減らすため、4～5日間隔の連続散布をお勧めします。
- ・葉裏までしっかり丁寧に散布してください。



●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届くところには置かない。 ●空容器は圃場等に放置せず適切に処理する。